

平成27年度 事業報告書

公益財団法人鍋島報効会

当会は佐賀県下における文化及び教育の振興に資し、かつこれを奨励助成するとともに社会事業に貢献することを目的としており、目的達成のため以下の4つの事業を行なう。

公1 [I] 徴古館の運営（定款第4条第1項第1号に定める事業）

(1) 展示公開事業

1) 企画展

本年度は5回の企画展を実施した。

第71回展「鍋島家の新しい宝—徴古館新収蔵品初公開」

平成27年5月11日(月)～6月13日(土) 30日間 461名

概要:平成10年6月に佐賀藩主・侯爵鍋島家伝来品を中心に紹介する歴史博物館として再開して以来、16年間で寄贈いただいた新収蔵品を初めてまとめて紹介した。

第72回展「蒸気軍艦を入手せよ！—江戸後期の長崎警備」

平成27年7月6日(月)～9月12日(土) 59日間 948名

概要:200年以上もの間佐賀藩にとって最重要任務であった長崎警備。1808年のフェートン号事件以来台場増築、10代藩主直正の時代には外目(沖側)に台場を築き蒸気軍艦を入手。幕末佐賀藩の長崎警備の大変革を浮き彫りにした。

第73回展「藩主の座—鍋島光茂公と跡継ぎ」

平成27年10月13日(火)～12月5日(土) 46日間 729名

概要:鍋島直茂を藩祖とする佐賀藩は他家から養子を迎えることなく最後の11代直大まで連綿と続いたが、親子の相続ではなく、孫や兄弟間の相続も少なくない。ここでは2代光茂とその子3代・4代・5代の相続事情を明らかに。

第74回展「大名道具で初春を楽しむ」

平成28年1月4日(月)～1月30日(土) 23日間 385名

概要:鍋島家伝来品の中から新春にふさわしい華やかな装束やカルタ・貝合わせ・香道具などを紹介。

第75回展「鍋島家の雛祭り」

平成28年2月11日(木)～3月31日(木) 50日間 13,214名

概要:今回より佐賀城下ひなまつりの開始が2月11日、終了が3月31日と統一され、街中の賑わいに貢献できた。侯爵鍋島家のお雛様は他所では見られぬ品格があり、大雛壇が多くの方を魅了した。

以上、合計開館日数208日、入館者数15,737名

2) イベント

①プレイエル小音楽会:7月26日(日)ピアニスト:松藤弘之氏

②講演会:11月21日(土)講師:大園隆二郎氏

③香道体験会「初春の香りを楽しむ」:1月24日(日)講師:椛島禅徹氏・佐賀香遊会 及び呈茶

④お抹茶席:宗徧流・裏千家流/お箏の音色:箏曲穂波会/茶花展:松風会室町御流・・・
ひなまつり期間の土日祝日に開催

その他 折紙教室(3日)・煎茶会(2日)

3) 展示設備

展示パネル・LED照明付3台新設

展示台クロス張替

展示ケース修理

(2) 調査研究事業

1) 城下絵図の読み解き、文献資料の調査解読、データベース化

①城下絵図に関する内容を含む講演・講座の講師派遣依頼が15件、その他のテーマでの依頼が22件あり、成果を報告する機会を得た。また、先祖調べなどの問い合わせに対応した。

②佐賀市文化財保護審議会、佐賀市歴史まちづくり協議会委員として発言の機会を得た。

2) 佐賀城下探訪会の実施

年4回の計画内容を記載したチラシを早めに作成し配布した結果、過去6年間の探訪会に比して、参加者が増大した。より多くの方に佐賀の歴史や文化を理解する良い機会を提供できた。また、今年度初の試みとして半日コース(定員30名)を設定し、4、5月に計4回実施した

①半日コース

4月22日・26日「向陽軒跡・万部島と春の東堀跡コース」23+23名

5月27日・31日「西堀端の古寺社と初夏の楠風コース」41+38名

②通常コース

第1回 9月6日 「神代(国見)・須古バスツアー」113名

第2回 1月18日 「名門神代家を訪ねて久保泉」115名

第3回 11月15日 「長崎街道周辺 東めぐり」88名

第4回 12月6日 「長崎街道周辺 西めぐり」95名

※平成21年度より通算28回実施した。

(3) 収蔵保管事業

収蔵庫は24時間空調で対応

年2回収蔵庫空調設備の保守点検を行った。

文化財修復:高木背水筆油彩画/雛人形

(4) 施設の貸与及び保全

1) 施設の貸与

①幕末佐賀研究会例会5回…幕末佐賀研究会

②文化庁支援事業定例会12回…さが城下まちづくり実行委員会

③佐賀城下案内板検討会14回…佐賀市都市デザイン課

④「古賀穀堂」勉強会8回…佐賀県立図書館

⑤濠端8館会議2回…濠端8館会議

⑥佐賀大学地域学歴史文化研究センター主催講座(11/14)…佐賀大学

⑦佐賀植物友の会研究報告会(28.1/17)…佐賀植物友の会

⑧生花教室23回(5月～3月)…室町御流

⑨鍋島緞通展(10/15～10/19)…無寒暑庵

2) 登録文化財【徴古館】の保全

徴古館玄関ポーチの軒天井塗装工事实施。

建設後10年経過した収蔵庫及び機械室屋上の防水工事を実施。

(公1)[II] 史跡等の保存事業(定款第4条第1項第2号に定める事業)

史跡等の保全のため、以下の8件について除草等を実施し、訪問者によい環境を整えた。

(1) 鍋島家春日御墓所

(2) 十可亭跡公園

(3) 高傳寺墓所及び御位牌所(佐賀市史跡)

(4) 鍋島直茂誕生地・胞衣塚(佐賀市史跡)

(5) 築地反射炉跡記念碑(佐賀市史跡)

(6) 萬部塔と六地藏(佐賀市史跡)

(7) 弘道館記念碑

(8) 青山墓地

また、本年度特別に下記の支出を行い、更なる史跡保全に努めた。

(1)の春日御墓所について、お位牌(霊璽)を納め祭祀を行う御祀堂の屋根の損傷がひどく、雨漏りも心配される状況のため、屋根葺き替え工事を実施。

(3)の高傳寺御位牌所の屋根葺き替え工事实施に当たり、経費の4分の1を特別に補助。

(8)の青山墓地について、改葬工事を実施。発掘調査は港区教育員会に委託。青山墓地から春日墓所へ移送の石造物について、移設は28年秋までに完了予定で実施中。

その他に、佐賀市久保泉町に所在の佐賀藩親類家である神代家墓所(松陰寺)の清掃を実施した。

(公1) [Ⅲ] 研究助成事業(定款第4条第1項第3号に定める事業)

以下の5件を助成対象に決定し、合計1,050,000円を平成27年4月3日に授与した。1年間の研究成果を平成28年3月末までに報告。28年5月28日に研究成果の報告会を実施する。前年度の研究成果は平成27年5月30日に研究報告会を開催し、成果を広く公開する機会を設けた。

1 上赤 博文(佐賀自然史研究会) 「市民による佐賀県内のタンポポ調査―身近な植物タンポポで分かる地域の環境」	助成額	250,000円
2 山田 淳平(京都大学文学研究科 博士課程後期3年) 「佐賀藩における雅楽文化の展開」	助成額	230,000円
3 金 羅榮(京都大学文学研究科 日本史学専修) 「佐賀藩における藩主室の葬送儀礼に関する基礎的考察―藩主室の実家との関係を中心に」	助成額	230,000円
4 宮崎 博司(佐賀県立名護屋城博物館 学芸課主査) 「絵図からみた唐津城下町の変遷」	助成額	140,000円
5 相川 昌彦(介護福祉士) 「佐賀県の農村舞台」	助成額	200,000円

なお、平成25年度及び26年度の研究成果を1冊に纏めた『公益財団法人鍋島報効会 研究助成研究報告書 第7号』は本年度(平成28年2月)に出版した。

(公1) [Ⅳ] 一般助成事業(定款第4条第1項第3号及び第4号に定める事業)

以下の13件を助成対象とし、各団体に合計4,551,000円を助成し、各事業の遂行に寄与した。

1 松浦党研究連合会 (『松浦党研究』及び資料集の刊行費補助)	助成額	100,000円
2 公益財団法人佐賀育英会 (松涛学舎の鍋島文庫図書整備費)	助成額	100,000円
3 佐賀県中学校体育連盟 (県下中学生の体育振興補助、大会入賞盾製作費)	助成額	280,000円
4 佐賀美術協会 (美協展での「鍋島報効会賞」4部門への授与)	助成額	80,000円
5 全国邪馬台国連絡協議会 九州支部 (10月17日開催第1回佐賀県大会「古代史フェスタ(リレー講演)」開催費用の補助)	助成額	200,000円
6 佐賀城を愛する会 (9月30日開催講演会「アームストロング砲が取り持つ「会津」と「佐賀」を考える」開催費用の補助)	助成額	160,000円
7 宗教法人佐嘉・松原神社 (由緒ある両社に対し寄進)	助成額	100,000円
8 宗教法人高傳寺 (御位牌所屋根葺替工事費補助)	助成額	1,771,000円
9 佐賀植物友の会 (機関誌『佐賀の植物』発行費補助)	助成額	600,000円
10 佐賀自然史研究会 (会誌『佐賀自然史研究』発行費補助)	助成額	150,000円
11 佐賀県菊花愛好会 (佐嘉・松原神社への献花)	助成額	50,000円
12 NPO法人国際下宿屋 (留学生への住居支援のため建物賃料補助)	助成額	360,000円
13 佐賀ん町屋ば甦らす会 (松原神社参道で町おこしの活動を行う会に対し建物賃料補助)	助成額	600,000円

(収1) 不動産賃貸に関する事業(定款第4条第1項第5号に定める事業)

収益事業の全体収入は前年度より減少した。貸地料・家賃収入に関しては借地返還、地料滞納、貸家未入居等により減少傾向は続いている。近年増加している貸地の問題案件については、収益の内容改善に努めている。松原及び新馬場の土地活用についても将来構想を検討している。

(平成27年度実績)		前年度比
貸地料収入	17,913,220円	(△993,830円)
家賃収入	11,022,000円	(0円)
駐車料収入	26,285,480円	(307,900円)
雑収入	640,538円	(△32,657円)

(他1) 鍋島直正公銅像再建委員会事務局助成

平成27年度助成額は182万円。直正公銅像再建事業への寄附金募集は平成26年7月1日から平成27年6月末までの一年間実施。目標額は大幅に達成し、7月以降の事務局業務は銅像の設計建設施工のための作業へ移行している。事業の最終年度である平成28年度は97万円を助成し、銅像建設、各種式典、以後の管理維持を含む自治体への寄贈等の事務作業を支援する。